

令和元年10月9日

報道機関 各位

## 第15回「人文知」コレギウム

聖者と政治ー中央アジア東部の近世史ー（東洋史 澤田 稔）

ウィリアム・シェイクスピアへのジェイムズ・ジョイスの敵対  
ー『ハムレット』の改作を中心にー（イギリス文学 結城史郎）

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的を開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味）。

来る10月23日（水）はその第15回となります。今回は、澤田 稔（東洋史・教授）「聖者と政治ー中央アジア東部の近世史ー」、結城 史郎（イギリス文学・准教授）「ウィリアム・シェイクスピアへのジェイムズ・ジョイスの敵対ー『ハムレット』の改作を中心にー」の2名の発表となります（詳細は、別添チラシをご参照ください）。

なお、本研究会は、一般の方や学生の聴講も可能です。

つきましては、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

開催日時：令和元年10月23日（水） 13時30分～15時30分

会 場：人文学部1階大会議室

### 【本件に関する問い合わせ先】

富山大学 人社系総務課（人文担当）

TEL：076-445-6131

FAX：076-445-6141



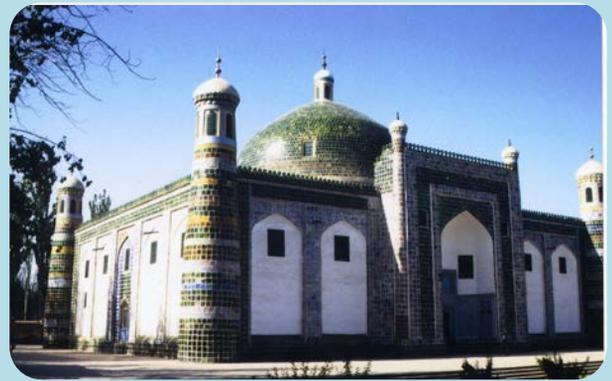
## 第15回 「人文知」 コレギウム

**澤田 稔**（東洋史・教授）

**聖者と政治**

—中央アジア東部の近世史—

中央アジアは16世紀から新たな民族形成の時代に入る。ウイグル、ウズベク、カザフなど現在につながる民族の基盤が築かれていく。本報告では、東トルキスタン（中国・新疆）におけるウイグル人の形成に関連して、ナクシュバンディー教団系統のイスラーム宗教貴族、カシュガル・ホージャ家が地域統合にはたした役割について考察する。



カシュガル・ホージャ家墓廟



アイルランド国立図書館

**結城 史郎**（イギリス文学・准教授）

**ウィリアム・シェイクスピアへのジェイムズ・ジョイスの敵対—『ハムレット』の改作を中心に—**

ウィリアム・シェイクスピアはイギリス文学の聖像であり、世界的にその名前が知られている。そのシェイクスピアにライバル意識を抱いたのが、イギリス支配下のアイルランドの作家のジェイムズ・ジョイスである。本報告では、ジョイスの『ユリシーズ』におけるアイルランド国立図書館での『ハムレット』論を取りあげ、このテキストへの被支配者の受容を検討し、現代における『ハムレット』改作へと視点を広げたい。

2019年10月23日(水) 13:30-15:30  
富山大学人文学部・1階・大会議室

一般の方の聴講歓迎・事前申し込み不要・無料

お問い合わせ 富山大学人社系総務課(人文担当) Tel 076-445-6131 Fax 076-445-6141